

県民の健康と医療を守る取り組み

1 医師や看護師など医療従事者の確保を図る 963,400千円

県民に質の高い医療サービスが提供できるよう、引き続き、医師や看護師など医療従事者の確保対策に積極的に取り組みます。

一部新規	医師確保対策 (医師等修学資金貸与、女性医師再就業支援、地域医療再生計画推進事業など)	(医務課)	305,675千円
一部新規	看護職員確保対策 (看護師等修学資金貸与、看護師等養成所運営費補助など)	(医務課)	425,968千円 など

2 医療提供体制の整備を図る 57,128,027千円

県民が県内のどこでも、いつでも良質で安全な医療を享受できるよう医療提供体制の充実を図ります。

	救急医療対策(ドクターヘリ、救命救急センター運営費補助など)	(医務課)	461,275千円
	小児救急医療対策(#8000など)	(医務課)	144,211千円
	周産期医療対策(周産期母子医療センター運営費補助など)	(保健予防課)	77,229千円
	過疎地域医療対策(自治医科大学運営費負担金など)	(医務課)	149,926千円
	後期高齢者医療対策	(国保援護課)	16,794,542千円
	県立病院運営(県立がんセンターを除く)	(病院局)	22,263,769千円
新規	医療施設耐震化臨時特例基金事業	(医務課)	1,584,585千円
新規	地域医療再生計画推進事業(医師確保対策、がん対策計上分を除く)	(医務課)	740,538千円など

3 県民の健康増進を図る 11,117,293千円

県民が健やかな生活を送るため、健康づくり環境の充実や感染症対策等に取り組みます。

一部新規	新型インフルエンザ対策	(保健予防課)	254,000千円
	妊婦健康診査支援事業	(保健予防課)	565,505千円
	児童生徒健康診断	(スポーツ健康課)	47,267千円など

4 がん対策の充実を図る 9,082,222千円

- ・がんは、昭和60年から群馬県の死因の第1位です。生涯のうちにがんにかかる可能性は、男性の2人に1人、女性の3人に1人とされています。
- ・がん患者を含めた県民の視点に立って「がんに負けることのない社会」の実現を目指します。

具体的な取り組みは別紙のとおり

予算額計 78,290,942千円

<がん対策の具体的な取り組み>

【別紙】

1 がん医療の提供体制の整備

8,351,328 千円

県民が平等に、質の高いがん医療を受けられるように、がん医療の提供体制の充実を図ります。

	がん診療連携拠点病院機能強化	(保健予防課)	78,000千円
NEW	県がん診療連携推進病院機能強化	(保健予防課)	20,000千円
	地域がん登録事業	(保健予防課)	10,767千円
NEW	重粒子線治療推進事業	(医務課)	13,842千円
	県立がんセンター運営	(病院局)	8,228,719千円

2 がん検診受診率の向上・がんの予防

92,613 千円

がんは早期発見・早期治療で多くの場合治癒します。そのためにがん検診の受診率を向上させます。がん予防のために、県民の生活習慣病予防対策に取り組みます。

NEW	がん検診企業連携事業	(保健予防課)	3,648千円
	女性のがん対策推進	(保健予防課)	7,351千円
	市町村健康増進事業補助	(保健予防課)	73,000千円
	元気県ぐんま 21 推進	(保健予防課)	2,791千円など

3 医師や看護師などの医療従事者の育成

638,281 千円

質の高いがん医療を提供するため、医師などの医療従事者を研修等によって育成します。

	がん診療従事医師緩和ケア研修	(保健予防課)	1,156千円
	がん検診等従事者講習	(保健予防課)	2,493千円
NEW	放射線治療専門医育成	(医務課)	630,000千円
	がん分野における質の高い看護師育成	(医務課)	4,056千円
	がん疼痛緩和ケア研修	(薬務課)	576千円

予算額計 9,082,222 千円